

交換レンズ
Interchangeable Lens
Objectif interchangeable

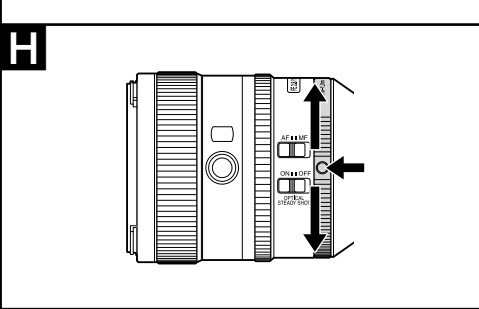
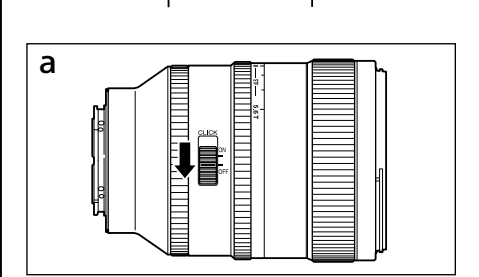
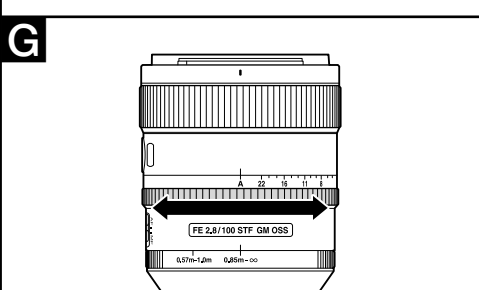
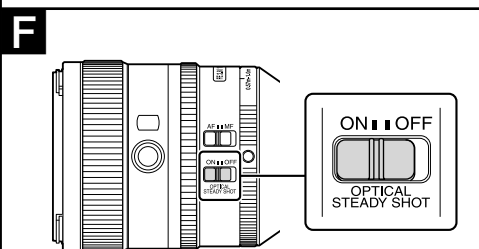
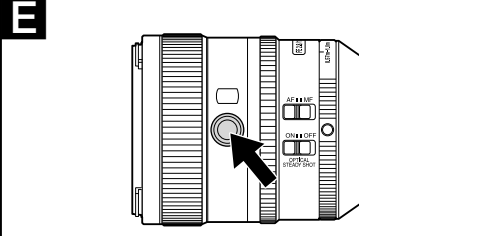
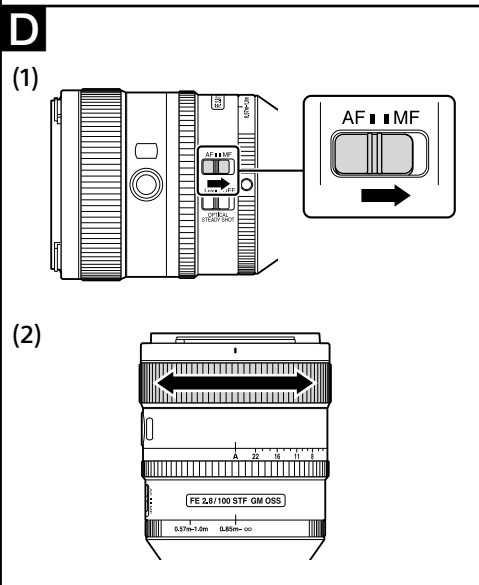
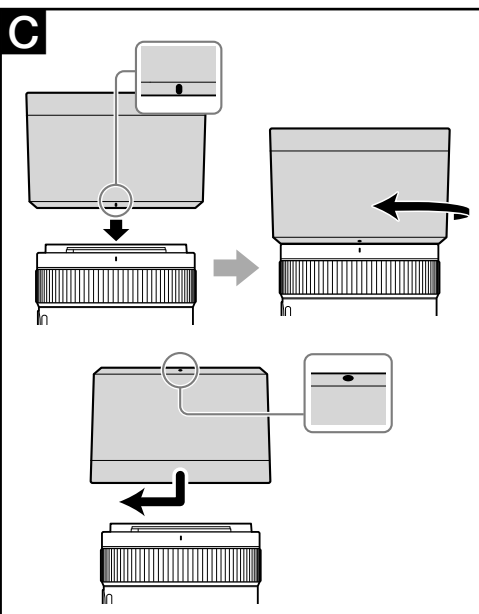
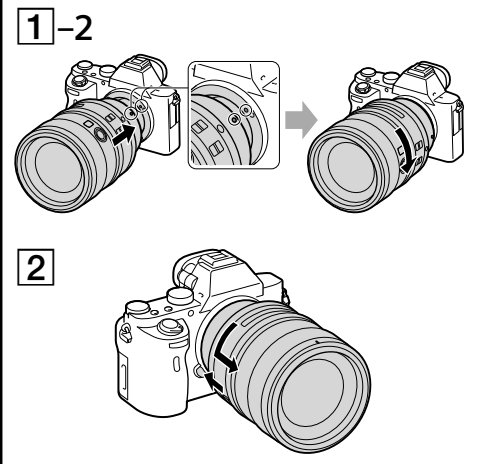
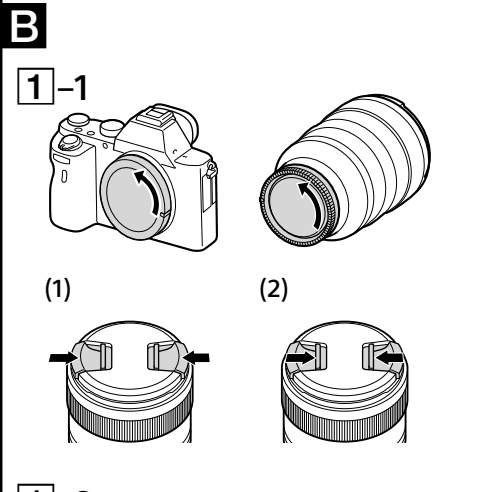
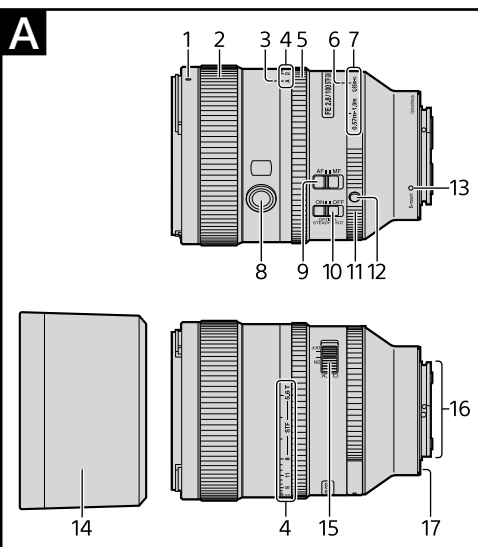
取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Manual de instrucciones

MASTER
FE 100mm
F2.8 STF GM OSS
E-mount

SEL100F28GM



http://www.sony.net/
©2016 Sony Corporation
Printed in Thailand



日本語
警告
電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この「取扱説明書」ではレンズの使いかたを説明しています。使用上のご注意など、レンズに共通したご注意や説明については別冊の「使用前のご注意」でご覧頂けます。必ずご使用の前に、本書と合わせてよくお読みの上でご使用ください。

本機はソニー製αカメラシステムEマウントカメラ専用のレンズです。Aマウントカメラにはお使いになれません。
35mm判相当の撮像素子範囲に対応しています。35mm判相当の撮像素子搭載機種ではカメラ設定によってAPS-Cサイズでも撮影が可能です。カメラの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。
http://www.sony.jp/support/ichigan/

使用上のご注意
• レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙や火災、ボディ・レンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光下等におく場合は、前後レンズキャップを取り付けてください。
• 逆光撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。また、太陽を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
• レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかりと持ってください。
• 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中使用時などは、水滴がからないようにしてください。

フラッシュ使用時のご注意
• カメラ内蔵フラッシュはお使いになれません。外付けフラッシュ（別売）をご使用ください。

A 各部のなまえ
1 レンズフード指標
2 フォーカスリング
3 絞り指標
4 絞り目盛
5 絞りリング
6 マクロ切り替え指標
7 マクロ切り替え目盛
8 フォーカスホールドボタン
9 フォーカスモードスイッチ
10 手ブレ補正スイッチ
11 マクロ切り替えリング
12 マクロ切り替えロック解除ボタン
13 マウント標点
14 レンズフード
15 絞りリングクリック切り替えスイッチ
16 レンズ信号接点
17 レンズマウントゴムリング
* 直接手で触れないでください。

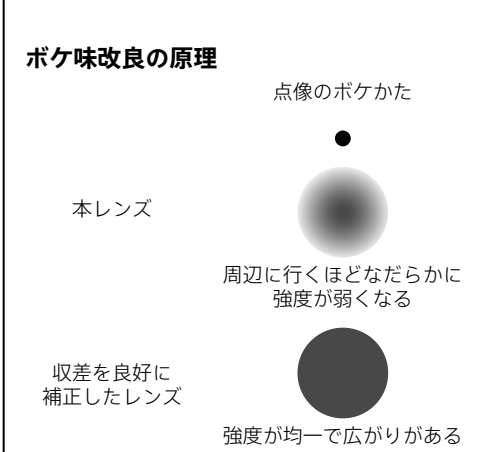
B レンズの取り付けかた／取りはずしかた

- 取り付けかた(イラストB-1参照)
1 前後のレンズキャップとカメラのボディキャップをはずす。
• レンズフロントキャップは図の(1)、(2)の2通りの方法で取り付け／取りはずしができます。(2)は、レンズフードを付けた状態でのレンズキャップの取り付け／取りはずしに便利です。
2 レンズとカメラの白い点(マウント標点)を合わせてはめ込み、レンズを軽くカメラに押し当てながら、時計方向に「カチッ」とロックがかかるまでゆっくり回す。
• レンズを取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さしないでください。
• レンズを斜めに差し込まないでください。

取りはずしかた(イラストB-2参照)
カメラのレンズ取りはずしボタンを押したまま、レンズを反時計方向に回してはずす。

C レンズフードを取り付ける
画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。
レンズフードの赤線をレンズの赤線(レンズフード指標)に合わせてはめ込み、レンズフードの赤点とレンズの赤線が合って「カチッ」というまで時計方向に回す。

アポダイゼーションについて
このレンズでは、「アポダイゼーション光学エレメント」という特殊効果エレメントを、レンズ光学系の中の絞りの近くに配置しています。これは周辺に行くにしたがって透過量が落ちる特殊光学エレメントで、周辺に行くにしたがって濃度が高くなる一種のNDフィルターと考えることができます。このレンズの絞り値は、アポダイゼーション光学エレメントの減光量を考慮に入れたT No.によって、表示/コントロールされます。T No.は、露出を決める上では普通のレンズのF No.と同様にお使いいただけます。



ボケ像は点像の集まりによって表現されます。収差が良好に補正されたレンズでは、像の形は正確に再現されますが、なめらかなボケ具合は失われてしまいます。補正のされかたによっては、2線ボケなど汚いボケになることもあります。アポダイゼーション光学エレメントを採用したこのレンズでは、周辺に行くほど強度が落ちるため、芯があってなめらかな広がりのある描写、すなわち元の形が不自然に変形することのない、柔らかく自然なボケ味を表現することができます。アポダイゼーション光学エレメントは、T5.6～T8.0の範囲で効果を発揮します。

• 外付けフラッシュ（別売）を使って撮影するときは、フラッシュ光が遮られることがありますので、レンズフードをはずしてください。
• 撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。

D ピントを合わせる
ピント合わせは、以下3つの設定方法があります。
• **オートフォーカス**
ピント合わせを自動で行う。

• **DMF (ダイレクトマニュアルフォーカス)**
オートフォーカスでピントを合わせた後に、マニュアルでピントを微調整する。
• **マニュアルフォーカス**
ピント合わせを手動で行う。

各モードの設定方法は、カメラの取扱説明書をご覧ください。動画時のAFは一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

AF (オートフォーカス) / MF (マニュアルフォーカス)の切り替え

AF (オートフォーカス:自動ピント合わせ) / MF (マニュアルフォーカス:手動によるピント合わせ)の設定を、レンズ側で切り替えることができます。AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

レンズ側の設定
フォーカスモードスイッチを、AFまたはMFのいずれか設定したいほうに合わせる(1)。
• カメラのフォーカスモードの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。
• MFではファインダー等を見ながらフォーカスリングを回して、ピントを合わせます(2)。

AF/MFコントロールボタンを装備したカメラをお使いの場合

- AF動作時にAF/MFコントロールボタンを押すと、一時的にMFへ切り替えることができます。
- MF動作時にAF/MFコントロールボタンで一時的にAFへ切り替えることができるのは、レンズの設定がAF、カメラの設定がMFの場合となります。

E フォーカスホールドボタンを使用する

• 本製品のフォーカスホールドボタンは、一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

AF中にフォーカスホールドボタンを押すと、AFの駆動を止めることができます。ピントが固定され、そのままのピントでシャッターを切れます。シャッターボタンを半押しした状態で、フォーカスホールドボタンを離すと、AFが再開します。

F 手ブレ補正を使用する

手ブレ補正スイッチ
• ON: 手ブレを補正します。
• OFF: 手ブレを補正しません。三脚をお使いになる場合は、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。

G 明るさを調節する
絞り指標に絞り目盛「A」を合わせると、オートアイリスモードになり、カメラ本体で明るさを調節できます。また、絞りリングを回すことで、光量をTNo.5.6～T22にマニュアル調節できます。

*TNo. (Tナンバー): レンズの透過率を考慮に入れた、実質的なレンズの明るさを示す値。このレンズの開口径はF2.8ですが、アポダイゼーション光学エレメントの使用により、光量的にはT5.6、すなわち通常のF5.6のレンズと同じ明るさになります。レンズ上の絞り表示の値、カメラの表示部に現れる値、露出決定の際に使用する値もすべてTNo.になります。このレンズでは、TNo.を通常の絞り値としてお使いください。

マニュアルで光量調節する
カメラがMモードまたはAモードの状態で、絞りリングを回して、希望のTNo.に合わせる。
• このレンズでは、T5.6～T8の間で絞り径を微細に設定できるように、その区間の目盛間隔を拡大しています。
• T5.6、6.3、7.1、8.0の位置に目盛がありますが、その間の絞りも設定可能です。
• 実際の撮影では絞りリングで設定された絞り値が使われますが、カメラの表示や記録される露出値は、カメラ設定「露出値ステップ幅」で設定された段数によります。

ご注意
動画撮影時に絞りリングを操作するときは、絞りリングクリック切り替えスイッチを「OFF」にしてください。(イラストG-a) 絞りリングクリック切り替えスイッチがOFFのときは、操作音が軽減されます。(動画撮影用) 絞りリングクリック切り替えスイッチを「ON」にしたまま動画撮影中に絞りを変更すると、操作音が記録されます。

H 撮影距離を切り替える
マクロ切り替えリングを回して「0.57m-1.0m」に合わせると、最短撮影距離0.57mまでの近接撮影(最大撮影倍率0.25倍)をすることができます。マクロ切り替えロック解除ボタンを押しながら、マクロ切り替えリングを回して、希望の撮影距離に合わせる。
• 0.85m-∞ (通常撮影): 無限遠から0.85mまでピントが合います。
• 0.57m-1.0m (マクロ撮影): 1.0mから0.57mまでピントが合います。

主な仕様	
商品名(型名)	FE 100mm F2.8 STF GM OSS (SEL100F28GM)
焦点距離(mm)	100
焦点距離イメージ ¹⁾ (mm)	150
レンズ群一枚	10-13 ²⁾
画角1 ³⁾	24°
画角2 ³⁾	16°
最短撮影距離 ⁴⁾ (m)	
マクロ切り替えリング「0.85m-∞」時	0.85
マクロ切り替えリング「0.57m-1.0m」時	0.57
最大撮影倍率(倍)	
マクロ切り替えリング「0.85m-∞」時	0.14
マクロ切り替えリング「0.57m-1.0m」時	0.25
最小絞り	F20 (T22)
フィルター径(mm)	72
外形寸法(最大径×長さ)(約: mm)	85.2×118.1
質量(約: g)	700
手ブレ補正機能	あり

¹⁾ 撮像素子がAPS-Cサイズ相当のレンズ交換式デジタルカメラ装着時の35mm判換算値を表します。

²⁾ アポダイゼーション光学エレメントを含みます。

³⁾ 画角1は35mm判カメラ、画角2はAPS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタルカメラでの値を表します。

⁴⁾ 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの距離を表します。

• レンズの機構によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変化する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無制限での定義です。

同梱物()内の数字は個数)
レンズ(1)、レンズフロントキャップ(1)、レンズリヤキャップ(1)、レンズフード(1)、レンズケース(1)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

α および G はソニー株式会社の商標です。

English
This instruction manual explains how to use lenses. Precautions common to all lenses such as notes on use are found in the separate "Precautions before using". Be sure to read both documents before using your lens.

This lens is designed for Sony α camera system E-mount cameras. You cannot use it on A-mount cameras. The FE 100mm F2.8 STF GM OSS is compatible with the range of a 35mm format image sensor. A camera equipped with a 35mm format image sensor can also be set to shoot at APS-C size. For details on how to set your camera, refer to its instruction manual.

For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

Notes on Use

- Do not leave the lens exposed to the sun or a bright light source. Internal malfunction of the camera body and lens, smoke, or a fire may result due to the effect of light focusing. If circumstances necessitate leaving the lens in sunlight, be sure to attach the lens caps.
- When shooting against the sun, keep the sun completely out of the angle of view. Otherwise, solar rays may be concentrated at a focal point inside the camera, causing smoke or a fire. Keeping the sun slightly out of the angle of view may also cause smoke or a fire.
- When carrying a camera with the lens attached, always firmly hold both the camera and the lens.
- This lens is not water-proof, although designed with dust-proofness and splash-proofness in mind. If using in the rain etc., keep water drops away from the lens.

Precautions on using a flash
• You cannot use a built-in camera flash with this lens. Use an external flash (sold separately).

A Identifying the Parts
1 Lens hood index
2 Focusing ring
3 Aperture index
4 Aperture scale
5 Aperture ring
6 Macro switching index
7 Macro switching scale
8 Focus hold button
9 Focus mode switch
10 Shake compensation switch
11 Macro switching ring
12 Macro switching unlock button
13 Mounting index
14 Lens hood
15 Aperture click switch
16 Lens contacts*
17 Lens mount rubber ring
* Do not touch the lens contacts.

B Attaching and Detaching the Lens
To attach the lens (See illustration B-1.)

- 1 Remove the rear and front lens caps and the camera body cap.
• You can attach/detach the front lens cap in two ways, (1) and (2). When you attach/detach the lens cap with the lens hood attached, use method (2).
- 2 Align the white index on the lens barrel with the white index on the camera (mounting index), then insert the lens into the camera mount and rotate it clockwise until it locks.

• Do not press the lens release button on the camera when mounting the lens.
• Do not mount the lens at an angle.

To remove the lens (See illustration B-2.)

While holding down the lens release button on the camera, rotate the lens counterclockwise until it stops, then detach the lens.

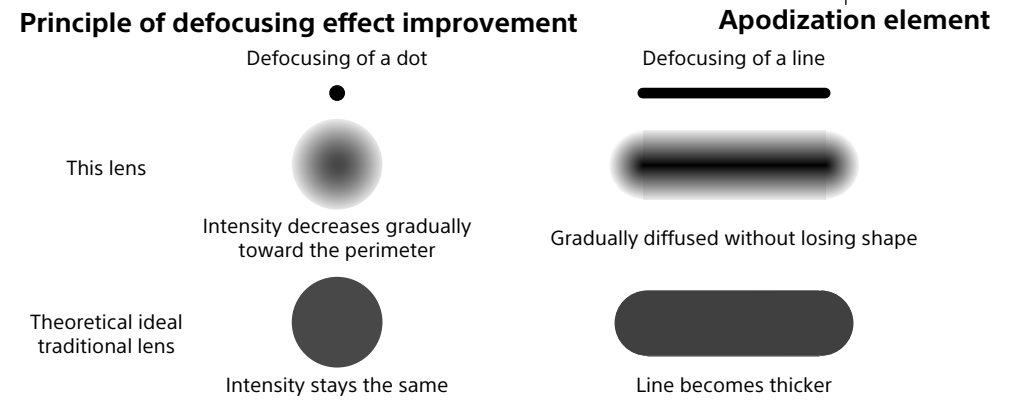
C Attaching the Lens Hood
It is recommended that you use a lens hood to reduce flare and ensure maximum image quality. Align the red line on the lens hood with the red line on the lens (lens hood index), then insert the lens hood into the lens mount and rotate it clockwise until it clicks into place and the red dot on the lens hood is aligned with the red line on the lens (lens hood index).

- When using an external flash (sold separately), remove the lens hood to avoid blocking the flash light.
- When storing, fit the lens hood onto the lens backwards.

D Focusing
There are three ways to focus.
• **Auto focus**
The camera focuses automatically.
• **DMF (Direct manual focus)**
After the camera focuses in auto focus, you can make a fine adjustment manually.
• **Manual focus**
You focus manually.

For details on mode settings, refer to the instruction manual supplied with the camera.
With some camera models, AF does not function during movie recording.
For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

About Apodization
A special "apodization element" is situated near the aperture of the lens optical system. This special optical element is a type of ND filter which gradually becomes thicker (darker) towards the perimeter, thereby reducing the amount of light that passes through around the outer perimeter. The aperture of this lens is indicated and controlled by the T No., which compensates for the reduction imposed by the special apodization element. The T No. can be used as the F No. on a normal lens when the exposure is determined.



Defocused images appear as blurred clusters of dots. A lens with well compensated aberration reproduces the image shape accurately, but cannot produce smooth blurs in a defocused area. There may be unpleasant blurs, which for example, make one line appear to be doubled, depending on the way of compensation. This lens adopts a special apodization element that provides a gradually diffused image toward the perimeter without losing the core shape. In other words, it provides soft and natural defocusing without transforming the original shape unnaturally. The apodization element provides its effect when the aperture is set within the range between T/5.6 and T/8.

(Continued on back page)

